

施策番号	2707		
施策名	水共生の取組の推進		
概要	水に関する諸課題の解決に向け、流域全体の治水対策、良好な水辺環境の実現等の水共生の取組を市民、事業者、行政が連携して推進し、水に関する市民意識が高いまちを目指す。		
担当局・部室	建設局・土木管理部	共管局・部室	
上位政策	27 くらしの水		
施策に係る主な分野別計画等	京都市水共生プラン、京都市河川整備方針		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	都市基盤河川改修率（％）	c	c	62.6	62.8	65.1	96.5%	d	1.00
2	親水性のある水辺空間の整備率（％）	a	a	97.3	98.7	98.7	100.0%	a	1.00
3	公共施設における雨水浸透施設設置率（％）	a	a	100.0	100.0	100.0	100.0%	a	1.00
4	水共生学習会の実施率（％）	a	a	87.5	90.0	90.0	100.0%	a	1.00
5	公共施設における雨水貯留施設設置率（％）	a	a	100.0	100.0	100.0	100.0%	a	1.00
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	水や水辺環境が大切にされるなど、 水と共に生きる意識が高まっている。	b	b	91 14.0%	261 40.2%	223 34.3%	49 7.5%	26 4.0%	650	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	B	令和元	B	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重 み 付 け	☐ 客観指標	当該施策は、水に関する市民意識の高いまちを目指すものであるため、市民生活実感評価を重視する。				
	☒ 市民の実感					

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

※予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・「京都市水共生プラン」及び「京都市河川整備方針」に基づき、市民の実感につながるよう、高瀬川再生プロジェクトをはじめとした河川改修や親水性のある水辺空間の整備、水共生学習会の実施と周知、雨水浸透施設及び貯留施設の設置などを引き続き推進する。

施策名	2707	水共生の取組の推進
-----	------	-----------

指標名	都市基盤河川改修率（％）
-----	--------------

担当課	河川整備課	連絡先	2 2 2－3 5 9 1
-----	-------	-----	---------------

1 指標の説明

都市基盤河川（※）の改修率
※国や府が維持管理を行う一級河川の中で、周辺地域における市街地整備と関連した治水対策を実施する必要がある等、一定の要件を満たした河川。本来の河川管理者に代わり、京都市が改修工事などを実施する。

2 指標の意味

水との共生に向けた治水対策の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：都市基盤河川整備延長÷都市基盤河川計画延長×100
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	62.6	62.8	0.2ポイント増	65.1	都市基盤河川における当該年度の目標改修率	96.5%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	65.7	令和2年度	95.6%	京プラン実施計画 第2ステージ

備考	
----	--

5 評価基準

最新値をx、（目標値-前回値）をyとしたとき、
a：目標値≤x
b：前回値+y*2/3≤x<目標値
c：前回値+y*1/3≤x<前回値+y*2/3
d：前回値<x<前回値+y*1/3
e：x=前回値

6 基準説明

目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
c	c	d

指標名	親水性のある水辺空間の整備率（％）
-----	-------------------

担当課	河川整備課	連絡先	2 2 2－3 5 9 1
-----	-------	-----	---------------

1 指標の説明

親水性のある水辺空間（※）の整備率
※人が水に親しみやすい水辺空間のこと

2 指標の意味

水との共生に向けた良好な水環境実現の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：親水性のある水辺空間の整備延長÷令和2年目標整備延長（※）×100 ※平成20年度比30%増
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	97.3	98.7	1.4ポイント増	98.7	令和2年度目標整備延長に対する当該年度の目標整備率	100.0%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	100	令和2年度	98.7%	令和2年度に100%の達成を目指す。

備考	
----	--

5 評価基準

最新値をx、（目標値-前回値）をyとしたとき、
a：目標値≤x
b：前回値+y*2/3≤x<目標値
c：前回値+y*1/3≤x<前回値+y*2/3
d：前回値<x<前回値+y*1/3
e：x=前回値

6 基準説明

目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が高いことから、目標値以上の達成をaとし、5段階に基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a

施策名	2707	水共生の取組の推進				
指標名	公共施設における雨水浸透施設設置率（％）					
担当課	河川整備課		連絡先	2 2 2－3 5 9 1		
1 指標の説明						
京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議により、雨水浸透施設（※）の設置が必要な件数に対する当該年度の設置率 ※雨水を地中に浸透させ、雨水の総流出量を減少させるために設置する施設						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
水との共生に向けた健全な水循環系回復の推進状況を示す指標			算出方法：設置件数÷協議による設置必要件数×100 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	100.0	100.0	増減なし	100.0	毎年度100%の設置を目指す。	100.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：70%以上～90%未満 c：50%以上～70%未満 d：30%以上～50%未満 e：30%未満			目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。		平成30 令和元 令和2 a a a	

指標名	水共生学習会の実施率（％）					
担当課	河川整備課		連絡先	2 2 2－3 5 9 1		
1 指標の説明						
水に対する意識を向上させ、身近な水辺空間の保全等を啓発する「水共生学習会」の実施率						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
水との共生に向けたゆたかな水文化創造の推進状況を示す指標			算出方法：実施件数÷令和2年目標実施累計件数（※）×100 ※40件 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	87.5	90.0	2.5ポイント増	90.0	平成23年度からの新規事業として、令和2年度までに累計40件の実施を目指す。（単年度目標：4件/年）	100.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	100	令和2年度	90.0%	令和2年度に累計40件（4件/年）を目指す。	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			目標値を上回することは不可能ではないため、100%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。		平成30 令和元 令和2 a a a	

施策名	2707	水共生の取組の推進					
指標名	公共施設における雨水貯留施設設置率（％）						
担当課	河川整備課		連絡先	2 2 2 - 3 5 9 1			
1 指標の説明							
京都市雨水流出抑制対策実施要綱に基づく協議により、雨水貯留施設（※）の設置が必要な件数に対する当該年度の設置率 ※雨水タンク等、雨水を貯留し、打ち水等への利用が可能なものに限る。							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
水との共生に向けた雨水利用の推進状況を示す指標			算出方法：設置件数÷協議による設置必要件数×100 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	100.0	100.0	増減なし	100.0	毎年度100%の設置を目指す。	100.0%	
	全国順位	中長期目標				備考	
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値	-			-			
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：70%以上～90%未満 c：50%以上～70%未満 d：30%以上～50%未満 e：30%未満		目標値を達成することは不可能ではないが、財政状況の寄与度が比較的高いことから、90%以上の達成をaとし、20%刻みで等間隔に基準を設定した。			平成30	令和元	令和2
					a	a	a